学校番号	218

平成 31 年度　商業科

教科	商業	科目	情報処理	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	最新情報処理　新訂版　（実教出版）						
副教材等	学習と検定　Ｅｘｃｅｌで学ぶ　全商情報処理検定テキスト　改定版　３級						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「Excel2016」を使用して表計算ソフトの基礎を学習します。
・表計算ソフトウェア以外にもコンピュータを使用した実習を行ないます。
・ネットワークの基礎やアルゴリズム、プログラミングの基礎も学習します。
・教科書を使用したプリント学習も取り入れています。

2　学習の到達目標

・オフィス業務において情報通信ネットワークを効果的に活用するための基礎的な知識を理解する。
・表計算ソフトフェアやデータベースソフトウェアを利用して管理、分析、活用する知識や技術を習得する。
・情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行うことができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	さまざまな情報機器の特徴と役割についての関心を持ち、コンピュータを効率的に利用する意欲と態度を持っている。	適切な手段を用いて情報を収集・処理し要求に応じた適切なシステム開発の用件を整理するなどの思考・判断力・表現力を身につけている。	インターネットやコンピュータの危険性を把握した上で、これらの情報機器を有効に活用する。	情報化が社会に及ぼす影響を理解する。情報社会のさまざまな課題について理解する。
評価方法	実技課題 補助プリント 定期テスト 観察等	実技課題 補助プリント 定期テスト 観察等	実技課題 補助プリント 定期テスト 観察等	実技課題 補助プリント 定期テスト 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報活用と情報モラル	コンピュータによる文字入力文書作成の技術を身に付ける 情報機器の特徴と役割を理解する 教材:「情報活用と情報モラル」 副教材:全商情報処理検定テキスト	◎	○	○		a:学習したことを活かして情報機器に関心を持ち、積極的に活用する。 b:表計算ソフトを利用し自ら工夫して表などを作成できるようになる。 c:表計算ソフトの基本操作を取得する。	a:行動観察 b: 課題提出 c:行動観察及び課題提出
	情報モラル	インターネットを利用する上で望ましい態度を身につける 教材:「情報モラル」 副教材:プリント	○	◎	○		a:望ましい情報機器との接し方について進んで学ぼうとする。 b:コンピュータやインターネットの望ましい活用方法を考える。 c:コンピュータやインターネットを適切に活用する技能を身につける。	a:行動観察 b: 課題提出 c:行動観察及び課題提出
	問題解決の手順と方法	問題を解決する手段と方法を主体的に取得する 教材:「問題解決の手段と方法」 副教材:プリント	○	◎	○		a:表計算ソフトウェアの操作実習に意欲的に取り組む。 b:文書に書き出すことで問題を明らかにする。 c:表計算ソフトウェアの基本操作を習得する。	a:行動観察 b: 課題提出 c:行動観察及び課題提出
2学期	基本的な表の作成	情報を発信し、相手に効果的に伝える手段や方法を学ぶ 教材:「基本的な表の作成」 副教材:全商情報処理検定テキスト		○	○	◎	b:発信する情報の内容を踏まえて適切に選択する。 c:表計算ソフトウェアの基本操作を習得する。 d:グラフや表を利用した分析や報告書の活用例。	b: 課題提出 c:行動観察及び課題提出 d:課題発表

2学期	セキュリティ管理の基礎	情報セキュリティを高めるためのさまざまな方法を身につける 教材:「セキュリティ管理の基礎」 副教材:プリント	◎	○	○		a:情報セキュリティの確保について感心を持ち、進んで対策を行おうとする態度を身につける。 b:どのような情報セキュリティの対策が必要か具体的に考える。 c:情報セキュリティの確保のための技術的な方法を身につける。	:行動観察 b: 課題提出 c:行動観察及び課題提出
3学期	情報の整理・検索・抽出	データベースソフトウェアの処理や自動化について学ぶ 教材:「情報の整理・検索・抽出」 副教材:プリント	○	◎	○		a:データベースの割合、しくみ整合性の構造やリレーションシップの意味が説明できる。 b:ＳＱＬの文法を理解している。 c:ＳＱＬの文法を理解している。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。